



## 砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

丸山明新理事長の挨拶

田河勝一前理事長退任の挨拶

通常総会を開催

活動概要報告

研修会

地域調整委員会活動

危険斜面等の緊急診断

### ☆ 丸山 明 新理事長のご挨拶

このたび会員各位のご推挙により理事長を勤めさせて頂くことになりました。もとより砂防に関して浅学菲才の私が計らずもこの重要な職に就いたことはまさにサプライズ人事であります。いずれにしましても能力・気力・体力ともにとうにピークを過ぎてしまった私ですが、お引き受けした以上は老骨に鞭打って他の理事とともに協会の確かな運営に努力します。会員の皆様のご協力をお願いします。

昨今、われわれ砂防ボランティア協会を取り巻く環境が、一時の順風満帆とも言えた時期に比べると色んな面で大変厳しくなっておりまゐりました。特に、次の点に留意したいと思います。

- ① 我々の活動は**府や市町村との連携が不可欠**です。具体的には、従来にもまして日ごろの密な連絡がしやすい雰囲気を持し、府・市町村との連携の中で「**活動の場**」、「**会員の技術の向上の機会**」の確保に努めてまいります。
- ② 「**組織の活性化**」は協会自身の努力が必要ですが、理事をはじめ高齢化が進行しています。会員の更なる増員と若返りを図るため、皆様の身近で信頼できる方の勧誘をお願いします。今まで企業に勤める会員が中心となって協会の運営に当たってきましたが、近年在宅会員が増えています。今年からは活動時の「旅費」を支給することになりましたので**在宅会員の皆様の活動への積極的な参加**をお願いします。
- ③ 今後は会員の「体力・気力・能力」の範囲で**新たな挑戦**・たとえば**他のボランティアや大阪府砂防協会との連携**を図ることなど、会員の皆様の意見を協会の活動に反映して参ります。さいわい大阪市中心部の堺筋本町駅近くに事務局を構えています。今後とも**会員のサロン(情報交換や学習等の場)**として貴重な空間として 大いに活用して頂きたいと思ひます。

以上、本協会が、大阪の土砂災害対策に少しでも貢献できることと、この活動が併せて会員の皆様の生きがいの一助となれば幸ひと思ひます。

### ☆ 田河 勝一 前理事長退任のご挨拶

平成20年度から2年間理事長を勤めさせていただき、この間、理事をはじめ会員並びに関係機関の皆様方には各般に亘りご協力とご支援をいただきありがとうございました。当協会の設立に係わった一人として協会に対する思い入れ一入でありましたが、今任を無事に終えることができ慶びとしております。

振り返って見ますと、協会が目指す「活動を通じ安全な地域づくりに寄与する」の目標を達成するためには①会員のモチベーション維持②活動フィールドの確保が課題であり、活動目標を「**地域ネットワーク活動の強化・充実**」に位置づけ、啓発活動、情報発信、研修の充実、協会の健全運営に取り組んでまいりました。

お蔭様で会員各位の前向きな姿勢と熱意の結集により目標をほぼ達成できました。なかでも昨年度の「土砂災害危険斜面等の緊急診断業務」において、厳しい冬期の気象下に拘らず会員はもとより会員以外の多くの方々のご支援・ご協力を得て、十分な成果を納入できました。この経験と実績は協会の今後の事業活動の大きな礎になることでしょう。

土砂災害は、住民が災害に関する情報・知識を事前に持ち、活かすことにより被害を軽減できる可能性が高い分野であり、災害ボランティアの平時の啓発活動は大きな役割を荷っており、また社会からの期待も益々高まるものと思ひます。

協会の益々の発展を祈念して理事長退任の挨拶とさせていただきます。



## ☆ 平成 22 年度通常総会を開催

5 月 14 日(金)に通常総会を開催し、平成21年度事業報告・決算報告を承認し、役員の改選、平成22年度事業計画・予算を審議し決定しました。役員改選に伴う新体制は以下のとおりです。

**新体制**  
理事長……丸山 明  
副理事長……大江 徹 藤本光大  
理 事……吉田勝義(総務) 中田 智(広報) 北田隆久(財務) 上畑憲光(企画)  
下清水則男(受託事業) 上島 保(地域調整)  
監 事……眞鍋英夫 岡本冠一

新たに理事の分担業務に副委員長を置き、執行体制の充実を図ります。

地域ブロック長……(池田)上畑憲光 (茨木)高橋明生 (枚方)下清水則男  
(八尾)川口恵司 (富田林)吉田勝義 (鳳)田中拓夫 (岸和田)上島 保

### 総会終了後 本年度第 1 回の会員研修会を開催しました。

- ・「土砂災害の現状と取り組み」 講師 大阪府ダム砂防課主査 吉川泰司
- ・「土砂災害のリスク認知と避難行動—砂防ボランティアに期待すること」  
講師 神戸大学名誉教授 沖村 孝

## ☆ 平成 21 年度 活動概要の報告

### ◎ 研 修 会

理事 上畑 憲光

平成 21 年度は当協会主催の砂防研修会を7月に、近隣府県の砂防施設見学会を 11 月に、斜面判定士資格取得のための現場研修会を3月に実施しました。

また、大阪府開催の土砂災害防止月間行事、亀の瀬地すべり現地見学会や和歌山県で開催された近畿地区土砂災害に関する講習会等に多くの会員が参加し、技術や知見の研鑽に努めました。

#### 1. 砂防施設見学会

今年度の砂防施設見学会は滋賀県の淀川水系白川支川砂防堰堤(大津市)、琵琶湖博物館(草津市)、家棟川流路工(野洲市)およびオランダ堰堤(大津市)を対象に実施しました。会員 36 名、大阪府関係者7名計 43 名の参加がありました。

11 月4日朝に大阪城公園を出発し、阪神高速・名神高速を経て大津市の現地に着。滋賀県砂防課の担当者から白川砂防堰堤の説明を受けました。この堰堤は 3 基あり、うち2基は透過型鋼製堰堤で土石流の被害から下流を守るとともに小粒の土砂を流化させ、流水の連続性を保つことができる自然に優しい構造です。

琵琶湖博物館では琵琶湖の歴史・役割・生物・生態系などの展示がなされていました。

家棟川流路工は天井川の解消を目的として既存河川の切り下げを砂防流路工事業で行うものです。国道1号線の横断部分は大規模な切り替え工事となったことが記憶に残りました。

オランダ堰堤は 1889 年(明治 22 年)にデレーケの指導の下に作られた割石積堰堤で、日本最古の砂防堰堤といわれています。周辺の環境に溶け込み、公園を訪れる多くの市民に親しまれています。

今回の研修には滋賀県砂防課および府からの出向職員の方に大変お世話になり、有意義な研修となりました。心からお礼を申し上げます。

#### 2. 砂防研修会

昨年7月3日(金)平成21年度総会に引き続き砂防研修会を開催しました。

「唐川ふるさと砂防事業」 講師 太子町住民部長 岡田 康男 氏

「砂防の歴史」 講師 全国治水砂防協会理事長 岡本 正男 氏

「唐川ふるさと砂防事業」では蜚の乱舞を取り戻して町おこしに繋がった例を紹介され、

「砂防の歴史」では、各地での土砂災害の例を実写動画で紹介されながら砂防の重要性を説かれ、会員の砂防に対する意識の向上に大いに役立ちました。



オランダ堰堤の前で

## ◎ 地域調整委員会活動

理事 上島 保

### 1. 平成 21 年度の活動報告

悲惨な土砂災害から府民の命を守るため、大阪府や市町村と連携し防災知識の啓発普及に努めました。危険箇所のパトロールや点検、出前講座等による啓発活動は延べ30回、参加会員82人でした。その活動は府民からも好意的に受け止められており、所期の目標を達することができたと思います。



地域の《危険箇所パトロール》、防災訓練や小学校で《出前講座》を実施しました。

### 2. 今年度の活動方針

災害対策に「自助、共助、公助」が大切だといわれています。特に土砂災害の被害防止に「自助・共助」が大切です。協会では、地域の皆さんが、“住民ならできる”をテーマとして《心のスイッチ→ON》を合言葉に土砂災害への備えを強められることをサポートするため、防災知識の啓発普及に努めてまいります。

#### 《心のスイッチ → ON》

- ・その日、そのとき、何かが違う。
- ・それに気づくか、気づかないか。
- ・自分が警戒心を持っているか否か。 （群馬大学大学院片田敏孝教授のことば）

出前講座の講師派遣要請が増えており「わかりやすいプレゼン」を目指して、府内7地域のブロック長等を対象として「出前講座等におけるパワーポイント・プロジェクターの積極的活用」など、プレゼン手法の研修に努めてまいります。

## ◎ 危険斜面等の緊急診断について

理事 下清水 則男

土砂災害危険斜面等の緊急診断については、平成 14 年度から始め平成 21 年度までの 8 年間現地調査を実施いたしました。この調査は既存カルテに基づき現地調査して再点検するもので、今まで継続して大阪府と契約締結し、調査活動を実施いたしました。

### 1. 平成 21 年度 調査概要

- ：調査箇所数 大阪府下 174 箇所
- ：調査期間 H21 年 12 月 18 日～平成 22 年 2 月 15 日迄
- ：調査会員 32 名

### 2. 調査実績

調査経緯実績表

| 危険箇所<br>ランク | 府下全体  | (箇所数) |     |     |     |     |     |     |     |       |
|-------------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|             |       | H14   | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22   |
| I           | 896   | 360   | 359 | 128 |     |     |     | 77  | 174 | (236) |
| II          | 1,115 |       |     | 162 | 201 | 250 | 102 | 23  |     | (340) |
| III         | 346   |       |     |     |     |     |     |     |     |       |

(I：人家5戸以上 II：人家1～4戸 III：人家なし)

### 3. 急傾斜地崩壊危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所とは、傾斜度 30 度以上、高さ 5m 以上の急傾斜地で、人家(人家がない場合でも官公署、学校、病院等の公共的な施設のある場所を含む)に被害を及ぼすおそれがある場所です。

#### 4. 調査にあたっての会員の声

- イ. 21 年度調査は、危険箇所(Ⅰ)の調査で人家戸数も多く、居住者に対する説明に時間を要した。  
ロ. 調査にあたって、居住者に事前に市役所から連絡があるため危険箇所に対する意識が高い。



住民に災害危険時の変化の把握、早めの避難を啓発し、裏山の斜面の状況を調査しています。

#### 5. 平成 22 年度調査

今年度調査がすでに始まっています。今回は半年間に及ぶ長丁場の調査で、会員の皆様、調査員の方々の強い協力と、安全対策・健康対策が求められています。また、調査対象の住民の方々など多数の皆様のご協力もよろしくお願いします。

- ：調査箇所数 大阪府下 576 箇所  
：調査期間 平成 22 年 7 月 1 日～12 月 17 日

##### 砂防トピック

—大阪府河川室提供—

- ◎ 防災情報は「**おおさか防災ネット**」、土砂災害防災情報は「**土砂災害の防災情報**」で検索  
URL⇒ <http://www.cds.osaka-bousai.net/sabou/Index.html>  
◎ 市町村ごとの「**大雨・洪水警報などの気象情報**」、「**台風、地震・津波情報**」、「**災害時の避難勧告・避難指示**」「**土砂災害警戒情報**」等を**携帯電話メール**で配信しています。  
受信するには [touroku@osaka-bousai.net](mailto:touroku@osaka-bousai.net) に空メールを送信。  
◎ 5 月から気象・防災情報が**市町村単位**で発信されています。

携帯の登録メールの  
QR コードはこちら↓



##### 特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒541-0047 大阪府中央区淡路町 1-6-2 TNJ 大阪ビル 6F

TEL/FAX 06-6208-1919

E-mail: [osakasabovo@tea.ocn.ne.jp](mailto:osakasabovo@tea.ocn.ne.jp)

<http://www18.ocn.ne.jp/~o-sabo/>

##### < “砂防ボランティア” 募集中 >

当協会の活動に賛同され、熱意を持って行動できる方。  
年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。

◎◎◎◎◎◎●当協会を支援いただいている企業賛助会員（アルファ順）●◎◎◎◎◎◎◎◎  
(株)浅沼組、(株)エヌイーエス、応用地質(株)、(株)奥村組、(株)竹中土木、  
(株)浪速技研コンサルタント、日本工営(株)、日本国土開発(株)、(株)ニュージェック